

事業評価書

補助事業名	高規格救急自動車購入					
補助事業者名	宜野湾市長					
実施場所	宜野湾市野嵩地内					
補助事業の成果の目標	<p>本市消防本部の高規格救急自動車は、市内で発生する救急事案等で使用しているが、配備後9年が経過しており、走行距離は20万キロメートルを超過している。近年ではエンジンや電気系統の故障から救急活動中にエンジンが停止するなど頻繁に支障を来している。</p> <p>このため、老朽化した高規格救急自動車の更新を行うことで、救急事案等が発生した場合、速やかに現場に出動し高度な救急救命処置が行われる環境を維持することを目標とする。</p> <p>(参考指標) ・年間の訓練回数:36回</p>					
補助事業の内容	高規格救急自動車 1台					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	円 30,899,000	円	円	円	円 30,899,000
	交付金額	27,000,000				27,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 高規格救急自動車の更新を行った結果、高度な救命処置が行われる環境を維持することができた。また、整備後1年間の故障等の不具合はなく、訓練等に実績をあげている。 ①不具合回数 0回 ②訓練回数 311回</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本車両の整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。 ①本車両 ②市ホームページ ③市広報誌</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	日常的に整備点検を実施し、今後とも整備計画に基づき老朽化した車両等を順次更新することで、救急業務を行える環境を維持する。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし					

事業評価書

補助事業名	大山2・3・7号線道路改良工事					
補助事業者名	宜野湾市長					
実施場所	宜野湾市 大山地内					
補助事業の成果の目標	<p>本市西海岸地区である大山七丁目地内は、埋立てによる造成整備から40年以上経過しているため、道路の老朽化が進んでいる。</p> <p>また、近年の商工業施設等の増加により、大型車両の交通量が大幅に増えていることから路面の凹凸が目立ち、車両等の通行に支障をきたしている状況である。</p> <p>このことから本事業を行うことにより、車両の安全性の確保及び道路利用者の環境改善を図るものである。</p>					
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計 一式 ・整備工事 L=567m W=8～10m 					
補助事業の始期及び終期	平成30年度から令和元年度					
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度			計
	事業費	円 26,746,200	円 25,155,900	円	円	円 51,902,100
	交付金額	22,000,000	24,000,000			46,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>本事業を実施したことにより、老朽化した舗装の整備ができ、地域住民が安全に利用できる環境を整えることができた。</p> <p>また、地域住民へアンケートを実施した結果、「走行しやすくなり利便性が向上した」、「車両への負担が軽減された」との回答を得たことから、車両の安全性の確保及び道路利用者の環境改善が図られたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を、以下のとおり地域住民へ周知を図った。</p> <p>①工事看板への記載 ②宜野湾市ホームページへの掲載</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	定期的な巡回等を実施し、道路利用者が安心・安全に利用できるよう維持する。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	予防接種事業					
補助事業者名	宜野湾市長					
実施場所	予防接種業務委託医療機関					
補助事業の成果の目標	<p>本市は、平成29年度から特定防衛施設周辺整備調整交付金を予防接種事業に充当し、安定的に予防接種事業を行うことで、市民の感染防止、発症予防に努め、市民の健康管理の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 過去3年度(H28～H30、対象期間7月～12月)の対象予防接種の延べ接種人数:14,186人。</p>					
補助事業の内容	予防接種事業 一式					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	円 143,500,101	円	円	円	円 143,500,101
	交付金額	117,228,000				117,228,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、市民の感染防止、発症予防に努めることが出来た。事業実施期間中の接種人数は当初目標値としていた14,186人に対し、実際の延べ接種人数は14,185人となり、ほぼ当初目標値となり、市民の健康管理の向上を図ることが出来たと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法により周知を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・宜野湾市保健相談センター(健康増進課)窓口での掲示。 ・宜野湾市ホームページへの掲載 </p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も継続して事業を実施していきたい。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし					

事業評価書

補助事業名	こども医療費助成事業					
補助事業者名	宜野湾市長					
実施場所	宜野湾市					
補助事業の成果の目標	<p>本市のこども医療費助成事業は、こどもの疾病の早期発見及び早期治療を促進することを目的に助成を行っている。令和元年度から特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当することで、安定的にこども医療費助成事業を実施し、こどもの健全な育成に寄与することを目的とする。</p> <p>(参考指標) 医療費助成延べ人数:12,170名(H30.8月～H30.10月)</p>					
補助事業の内容	医療費助成事業 こども医療費助成費 一式					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	円 49,291,773	円	円	円	円 49,291,773
	交付金額	39,500,000				39,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、こども医療費助成事業の安定的な実施を図ることができた。事業実施期間中(受診期間:令和元年8月1日～令和2年1月31日)の助成人数は25,348人となっており、次世代を担うこども達が、発育・発達の目覚ましい時期に安心して医療が受けられる機会を確保し、こどもの健全な育成に寄与することができた。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法により周知を図った。 ・宜野湾市役所(児童家庭課)窓口での掲示 ・宜野湾市ホームページへの掲載</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も継続して事業を実施していきたい。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し。					

事業評価書

補助事業名	妊婦健康診査事業						
補助事業者名	宜野湾市長						
実施場所	宜野湾市地内						
補助事業の成果の目標	<p>本市の妊婦健康診査事業は、妊婦及び胎児の健康状態を把握し、妊娠時の異常の早期発見・早期治療を目的に助成を行っている。令和元年度から特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当することで、安定的に妊婦健康診査事業を実施し、妊婦が安心して妊娠・出産ができる体制を整え、母体及び胎児の健康確保を図る。</p> <p>(参考指標) 妊婦健康診査受診延べ人数:3,655人(H30.8月～H30.10月)</p>						
補助事業の内容	妊婦健康診査事業 一式						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 51,505,670	円	円	円	円	円 51,505,670
	交付金額	37,600,000					37,600,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業の実施により、妊婦健康診査を安定的に実施でき、妊婦が国の示す標準的な回数 of 妊婦健康診査を受けることできた。事業実施期間中(R1.8月～R2.1月)の受診人数は6,979人となっており、妊婦自身が健康管理を行い、出産に望むことができたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法により周知を図った。 ①宜野湾市保健相談センター(健康増進課)窓口での掲示。 ②宜野湾市ホームページへの掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も継続して事業を実施していきたい。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし						

事 業 評 価 書

補助事業名	宜野湾市立幼稚園運営事業						
補助事業者名	宜野湾市長						
実施場所	宜野湾市普天間・新城・大山・大謝名・真栄原・志真志・宜野湾・長田地内						
補助事業の成果の目標	<p>本市幼稚園は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものとして、幼児を保育し、健やかな成長のため適切な環境を与え、心身の発達を助長するため保育活動を実施している。</p> <p>預かり保育・2年保育事業は一部の園で行っていたが、各園の保護者より要望があったことから、平成25年度より全ての園で預かり・2年保育事業を行うなど改善を行ってきた。また、平成26年度は、新設校が開校したことにより、市内幼稚園の定員数も増え待機児童の改善を行ってきた。平成27年度からは預かり保育の定員も撤廃し、4歳児の短期預かりも実施、令和元年度10月より保育無償化がスタートし、今後も安定的な保育運営を行うことで保育環境の維持を図る。</p> <p>(参考指標)</p> <p>①保育活動日数(4月～3月)：199日 ②幼稚園利用人数(4月～3月)：532人</p>						
補助事業の内容	幼稚園教諭の給料及び手当 31名						
補助事業の始期及び終期	平成28年度～						
事業費及び交付金額			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計
	基金造成額	交付金額	円 20,248,000	円 100,000,000	円 110,000,000	円 120,000,000	円 350,248,000
		市町村費等	0	0	0	0	
		運用益	0	0	0	0	
		計	20,248,000	100,000,000	110,000,000	120,000,000	
	基金処分額	0	119,248,000	110,000,000	120,000,000	349,248,000	
基金残額	20,248,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより幼稚園教諭それぞれが、幼児の健やかな成長のため事業を行うことができ、安定的な保育環境を維持することができた。また、保育活動日数及び幼稚園利用人数は下記のとおりとなっており、安定的な保育運営を行えたと評価する。 ①事業実施期間中の保育活動日数：199日 ②事業実施期間中の幼稚園利用人数：567人</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を下記のとおり実施し地域住民へ周知した。 ①毎月の行事案内園だより・クラス便り等子どもの様子を伝えるなど定期的な手紙の配布) ②中学校区(幼稚園、小学校、中学校)での周知 ③園内掲示板及び市ホームページ掲載による周知</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も継続しての事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						